

9 結核対策

日本全体としては、令和3年以降、結核の低蔓延の基準である罹患率10未満を維持しているが、大分県では、令和2年に一度罹患率9.2になって以降、3年連続で罹患率(10.5、10.8、12.2)が上昇し、令和4年と令和5年の2年連続で、全国ワースト2位の罹患率となっている。令和6年の管内の結核登録患者数は67人、新登録者数は24人となっており、年齢階級別新登録患者の状況を見ると、65歳以上が約85%以上、別府市では外国籍の結核患者が平成16年以降、毎年発生しており、10代、20代の若年層の結核罹患率を引き上げている。このような状況から高齢者については高齢者福祉施設、外国人国籍の結核患者については、外国人留学生を受け入れている大学、技能実習生等を受け入れている企業との連携強化が必要である。

(1) 結核新登録者数（活動性分類別・市町村別）

令和6年（単位：人）

		活 動 性 結 核							(別掲) 潜在性結核 感染症	
		総 数	肺 結 核 活 動 性					肺外結核活 動性		
			総 数	喀痰塗抹陽性			その他の結 核菌 陽性			菌陰性・そ の他
				総 数	初 回 治 療	再 治 療				
管 内	24	19	11	11	-	5	3	5	15	
東 部 保 健 所	18	15	7	7	-	5	3	3	10	
	別 府 市	13	12	7	7	-	3	2	1	9
	杵 築 市	1	1	-	-	-	-	1	-	-
	日 出 町	4	2	-	-	-	2	-	2	1
国 東 保 健 部	6	4	4	4	-	-	-	2	5	
	国 東 市	6	4	4	4	-	-	-	2	5
	姫 島 村	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：東部保健所調べ（厚生労働省「結核発生動向調査」）

（標準化様式表 27）

(2) 結核新登録者数（活動性分類別・年齢階級別）

令和6年（単位：人）

	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性結核感染症
	総 数	肺 結 核 活 動 性						肺外結核活動性	
		総 数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
			総 数	初 回 治 療	再 治 療				
総 数	24	19	11	11	-	5	3	5	15
0 ～ 4 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 ～ 9 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10 ～ 14 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ～ 19 歳	1	1	-	-	-	1	-	-	-
20 ～ 29 歳	1	1	-	-	-	1	-	-	2
30 ～ 39 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	1
40 ～ 49 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50 ～ 59 歳	3	1	1	1	-	-	-	2	-
60 ～ 64 歳	2	2	1	1	-	-	1	-	1
65 ～ 69 歳	-	-	-	-	-	-	-	-	1
70 ～ 74 歳	4	2	-	-	-	1	1	2	3
75 ～ 79 歳	2	2	2	2	-	-	-	-	2
80 ～ 84 歳	3	3	-	-	-	2	1	-	2
85 ～ 89 歳	2	2	2	2	-	-	-	-	2
90 歳 以 上	6	5	5	5	-	-	-	1	1

資料：東部保健所調べ（厚生労働省「結核発生動向調査」）

（標準化様式表 26）

(3) 結核活動性分類別登録者数（受療状況別・市町村別）

令和6年（単位：人）

	受療状況	総数	活動性結核					不活動性結核	活動性不明	(別掲) 潜在性結核感染症		
			総数	活動性肺結核			活動性肺結核			治療中	観察中	
				登録時 喀痰塗 抹陽性	登録時 その他 菌陽性	登録時 菌陰 性・ その他						
管内	総数	67	24	10	4	4	6	43	-	7	9	
	入院	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	
	外来治療	21	21	7	4	4	6	-	-	7	-	
	治療なし	43	-	-	-	-	-	43	-	-	9	
東部保健所	総数	57	18	7	4	4	3	39	-	6	5	
	入院	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
	外来治療	17	17	6	4	4	3	-	-	6	-	
	治療なし	39	-	-	-	-	-	39	-	-	5	
	別府市	総数	37	12	7	2	2	1	25	-	5	4
		入院	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
		外来治療	11	11	6	2	2	1	-	-	5	-
		治療なし	25	-	-	-	-	-	25	-	-	4
	杵築市	総数	10	2	-	1	1	-	8	-	-	-
		入院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		外来治療	2	2	-	1	1	-	-	-	-	-
		治療なし	8	-	-	-	-	-	8	-	-	-
	日出町	総数	10	4	-	1	1	2	6	-	1	1
		入院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		外来治療	4	4	-	1	1	2	-	-	1	-
		治療なし	6	-	-	-	-	-	6	-	-	1
国東保健部	総数	10	6	3	-	-	3	4	-	1	4	
	入院	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	
	外来治療	4	4	1	-	-	3	-	-	1	-	
	治療なし	4	-	-	-	-	-	4	-	-	4	
	国東市	総数	10	6	3	-	-	3	4	-	1	4
		入院	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-
		外来治療	4	4	1	-	-	3	-	-	1	-
		治療なし	4	-	-	-	-	-	4	-	-	4
	姫島村	総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		入院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		外来治療	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		治療なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：東部保健所調べ（厚生労働省「結核発生動向調査」）

（標準化様式表 28）

(4) 結核有病率・罹患率（市町村別）

令和6年（単位：人、人口10万人対）

	登録者数	有病率				罹患率				死亡率		人口
		活動性結核患者数	有病率	登録時菌陽性肺結核患者数	登録時菌陽性肺結核有病率	新登録患者数	罹患率	菌陽性肺結核患者数	菌陽性肺結核罹患率	死亡者数	死亡率	
管内	67	24	12.5	14	7.3	24	12.5	16	8.4	4	2.1	191,242
東部保健所	57	18	10.9	11	6.6	18	10.9	12	7.3	2	1.2	165,500
別府市	37	12	10.7	9	8.0	13	11.6	10	8.9	1	0.9	112,456
杵築市	10	2	7.7	1	3.9	1	3.9	-	-	1	3.9	25,820
日出町	10	4	14.7	1	3.7	4	14.7	2	7.3	-	-	27,224
国東保健部	10	6	23.3	3	11.7	6	24.8	4	15.5	2	7.8	25,742
国東市	10	6	24.8	3	12.4	6	24.8	4	16.5	2	8.3	24,232
姫島村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,510

注1：有病率、罹患率を算出する際の基準人口は、令和6年10月1日現在人口

(標準化様式表 29)

注2：死亡率は「結核発生動向調査」によるため、人口動態調査に基づく結核死亡率と値が異なる。

資料：東部保健所調べ

(5) 精密検査（従来の管理検診）実施状況

令和6年度（単位：人、%）

	対象者数 (A)	受診者数				受診率 (B)/(A)	受診者内訳			要医療率 (C)/(B)
		総数 (B)	保健所 実施分	医療機 関委託	その他		要医療 (C)	要観察	観察 不要	
管内	105	102	20	-	82	97.1	-	77	24	-
東部保健所	92	90	15	-	74	97.8	-	72	16	-
別府市	59	57	10	-	47	96.6	-	45	11	-
杵築市	18	18	4	-	13	100.0	-	15	2	-
日出町	15	15	1	-	14	100.0	-	12	3	-
国東保健部	13	13	5	-	8	100.0	-	5	8	-
国東市	13	13	5	-	8	100.0	-	5	8	-
姫島村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：東部保健所調べ

(標準化様式表 31)

(6) 接触者健診実施状況

1) 患者家族健診

令和6年度（単位：人、%）

	対象者数 (A)	受診者数				受診率 (B)/(A)	受診結果内訳				要医療率 (C)/(B)
		総数 (B)	保健所 実施分	医療機 関委託	その他		要医療 (C)	潜在性 結核感 染症	要観察	観察 不要	
管内	25	23	21	-	2	92.0	-	-	10	13	-
東部保健所	17	15	13	-	2	88.2	-	-	9	6	-
別府市	13	11	11	-	-	84.6	-	-	6	5	-
杵築市	1	1	1	-	-	100.0	-	-	-	1	-
日出町	3	3	1	-	2	100.0	-	-	3	-	-
国東保健部	8	8	8	-	-	100.0	-	-	1	7	-
国東市	8	8	8	-	-	100.0	-	-	1	7	-
姫島村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注：結核の発病時期を考慮し、患者と接触後2年間は観察期間としている。

(標準化様式表 32-1)

資料：東部保健所調べ

2) その他の接触者健診

令和6年度(単位:人、%)

	対象者数 (A)	受診者数				受診率 (B)/(A)	受診結果内訳				要医療率 (C)/(B)
		総数 (B)	保健所 実施分	医療機 関委託	その他		要医療 (C)	潜在性 結核感 染症	要観察	観察 不要	
管内	267	266	151	-	115	99.6	1	4	62	194	0.4
東部保健所	161	160	89	-	71	99.4	1	1	39	111	0.6
別府市	128	127	74	-	53	99.2	1	1	25	101	0.8
杵築市	12	12	8	-	4	100.0	-	-	7	5	-
日出町	21	21	7	-	14	100.0	-	-	7	5	-
国東保健部	106	106	62	-	44	100.0	-	3	23	83	-
国東市	106	106	62	-	44	100.0	-	3	23	83	-
姫島村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注:結核の発病時期を考慮し、患者と接触後2年間は観察期間としている。

(標準化様式表 32-2)

資料:東部保健所調べ

(7) 結核予防(健康診断)

令和6年度(単位:人)

		総数	定期						接触者健診		
			事業者	学校長	施設の長		市町村長		実施 件数	患者 家族	その他
					刑事 施設	社会福 祉施設	65歳 以上	その他			
ツベルクリン 反応検査	被注射者数	-								-	-
	被判定者数	-								-	-
	陰性者数	-								-	-
	陽性者数	-								-	-
集団健康診断実施件数		30							30		
健康診断受診者数		32,131	14,241	3,894	-	1,846	11,861	-		23	266
間接撮影者数		-		-	-	-	-	-		-	-
直接撮影者数		31,857	14,238	3,894	-	1,846	11,861	-		2	16
喀痰検査者数		3	3	-	-	-	-	-		-	-
IGRA検査者数		234								16	218
被発見者数	結核患者	7	1	4	-	1	-	-		-	1
	潜在性結核感染者	4	-	-	-	-	-	-		-	4
	結核発病の恐れがあると診断された者	3	-	-	-	-	-	-		-	3

資料:東部保健所調べ

(標準化様式表 30)

(8) 結核対策研修会

地域における結核の早期診断・適正医療を推進すること、患者の療養生活を支える支援者を増やすことを目的として、下記研修会を開催した。

1) 医療従事者研修会

令和6年度

実 施 日	令和6年9月19日
方 法	ZOOMウェブセミナー
参 加 者	管内医療機関 東部保健所：医療機関13機関、医療従事者延べ21人 国東保健部：医療機関13機関、医療従事者延べ13人 (全体参加者216人)
内 容	第一部 東部保健所・国東保健部合同研修会 (18:00～18:35 ブレイクアウトルーム) 1. 開会挨拶 東部保健所 所長 糸長 伸能 2. 「令和5年結核統計 東部保健所管内の課題」 東部保健所 検査課 主幹 安部 竜二 3. 「対応事例紹介」 東部保健所 地域保健課 技師 上野 由紀 国東保健部 地域保健課 技師 上野 真穂 4. 令和6年度採痰研修会・コホート検討会の案内 第二部 県全体研修会 (18:45～20:00) 1. 開会 2. 行政説明「大分県の現状と対策」 福祉保健部 健康政策・感染症対策課 課長 池邊 淑子氏 3. 講演「結核の診断と標準的な治療」 大分県結核診療支援センター 山末 まり氏

資料：東部保健所調べ

2) 採痰研修会

令和6年度

実 施 日	令和6年10月4日	令和6年10月29日
場 所	別府豊泉荘 梅の間	国東市民病院 地域ふれあいホール
参 加 者	管内6医療機関の看護師8人（感染管理認定看護師4人、看護師4人）	管内の医療従事者（3医療機関33人）
内 容	1 報告「東部保健所管内の結核発生動向について」 報告者：東部保健所 地域保健課 感染症対策班 技師 楠崎 妙 2 講義及び実技「結核の基礎知識と外来における採痰方法」 講師：国立行政法人 国立病院機構 西別府病院 看護師 狭間 愛海氏	1 報告「国東保健部管内の結核発生動向」 報告者：国東保健部 上野 真穂 2 講義及び実技「結核の基礎知識と良質な採痰方法」 講師：独立行政法人 国立病院機構 西別府病院 大野 早苗 氏

資料：東部保健所調べ

（９）外国人留学生結核患者療養支援システム強化事業

平成 24 年度の結核新登録患者の年齢構成比率を全国と比較すると、15～19 歳が全国平均の 6 倍、20～29 歳が 2.4 倍の割合を占めており、15～29 歳の患者の約 9 割が外国人留学生であった。そこで、外国人留学生患者の早期発見と適切な治療の完遂及び感染拡大防止のため、管内の関係機関（別府大学、APU、西別府病院）と連携した支援体制の強化を図ることを目的とし平成 25 年度から実施している。

〔実務者会議〕

令和 6 年度

実 施 日	令和6年7月29日
場 所	大分県東部保健所 3階大会議室
参 加 者	結核拠点病院の病棟看護師長・外来看護師長・医療連携担当者 大学の留学生担当者・健康管理担当者、保健所 西別府病院（3）、別府大学（2）、APU（2）、溝部短期大学（2）、 保健所（6）
内 容	○結核の発生動向と基礎知識 ○結核対策強化フローの確認 ○事例検討「大学・医療機関・保健所での連携が効果的な療養支援に 結びついた事例」 ○その他情報共有

資料：東部保健所調べ